



令和4年 第15号

発行人：施設長 石崎 剛  
発行：永寿園とよなか  
〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町3-2-122  
TEL：06-6840-2211 FAX：06-6840-2214  
URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/  
E-mail：eijyuentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp

## 「その人らしく、ここで…」



施設長 石崎 剛 (いしざき たけし)

この度、大西施設長の後任として着任いたしました。3月までは同じ豊中市にある「みずほおおぞら」で副施設長として従事しており、「オオゾラヤ」のパン販売で永寿園とよなかに来させてもらったことがあるので、顔を見たことがある方がいるかもしれません。

さて、令和4年永寿園とよなかでは「その人らしく、ここで…」の事業理念の下、「地域と共に“わたしらしく生きる”」を運営方針に以下の事業計画を作成しました。この事業計画を適切に実施し、入居者の方だけでなく地域の方との連携を深め、永寿園とよながが社会資源の一つとして担えるように努めてまいります。

微力ではございますが誠心誠意努力いたしますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### ステップアップ事業

自ら輝ける居場所づくりの為、社会参加の一環として様々な活動を「仕事」としてプログラム化し活躍できる体制を整えます。

### 地域公益事業

借用農地で収穫した野菜や管理栄養士による健康レシピ等を自宅へお届けする宅配サービスを実施していきます。

### 重点項目

保育園を開放し、地域の子どもたちと一緒に集団遊びを通して協調性やお互いを思いやる気持ちを育てていきます。  
ケアプラン会議を入居者ひとりひとりの人生会議と捉え、“わたしらしさ”が活きた人生設計を支援します。





# 特養

## ～ 令和3年度・取り組み内容 ～

特別養護老人ホームでは、一時帰宅や外出、旅行等への願いの実現を具現化させます。併せて、診療所と連携を図りながら、自宅での看取りが選択できる体制を構築します。

令和3年度は“想いを叶える”取り組みに力を入れ、各ユニット取り組んでもらいました。

『施設に居てもわたらしくいられる!!』そんな生き方・過ごし方が支えられたらと多職種協働で実践が出来た一場面をご紹介します。

### ゆたか1丁目

「洋食屋さんランチ」を開催しました。以前より「また新阪急ホテルのバイキングのエビフライが食べたい。」と仰っていた入居者の夢を叶えるべく、栄養士と連携し今回の「洋食屋さんランチ」が実現しました。

エビフライを夢見た入居者に感想を聞くと「うん、美味しいよ」と苦笑い。新阪急ホテルのエビフライと比べてどうですか?との職員の問いに「新阪急ホテルのエビの方が大きいわ」と苦笑いで一言。やはり新阪急ホテルの昔食べたエビフライには敵わなかったようです。(笑)

コロナ禍もあり希望を100%叶えることはできませんでしたが、施設内でも出来ることが無いかと考えた結果、入居者に楽しんで頂くことが出来ました。ゆたか1丁目では、これからも入居者の夢を叶えられるように職員間で連携し取り組んでいきます。



### ゆたか2丁目

入居者が「昔はスナックで歌ったりして楽しかったわ～」とお話されているのを聞き、ユニットでスナックを再現してみました。と言ってもお酒などは提供できませんでしたが…。けれどもライトアップなどで雰囲気作りをし、カラオケで気持ちよく歌って頂いたりしました。入居者からは「大きな声で歌うのは気持ちええね。みんな好きに歌ってバラバラやっただけだね(笑)」と笑顔で仰っていただきました。

今年度はコロナの影響により外出もできず、家族様との面会も少なくなっていました。レクリエーションや行事等で楽しんでいただけるように努めましたが、入居者には窮屈な思いをさせてしまったかもしれません。次年度は今年度叶えられなかった入居者の「想い」を叶えられるように職員一同取り組んでいきます。



### いづみ1丁目

入居者の「愛犬に会いたい…」という『想い』を叶える為、愛犬との散歩を実現しました。コロナ禍となり、外出も不自由で面会制限もあり、その中で少しでも癒しを感じて頂きました。

家族様も一緒に来て頂き、施設付近を短時間ではありますが散歩することが出来ました。こんなにも生き生きとして嬉しそうな顔を見るのは久しぶりで、私たち職員も嬉しい時間でした。

まだまだ我慢をしなければいけない日々が続きますが、その中でも皆さんのちょっとした『想い』を叶える為、職員一同努めていきたいと思えます。



### いづみ2丁目 (ショートステイ)

コロナ禍の中でも施設での生活を満足して頂けるように、おやつ行事を中心に取り組んでいます。

ご利用者に食べたい物をお聞きして、ご利用者と一緒におやつ作りを行い、充実した生活を送れるように努めています。また行事面だけでなく、自宅で過ごされている中でも施設内で出来る事などをアプローチできるように努めています。

ユニットの目標として「ご利用者一人ひとりが常に安心して自宅のような生活を送れる環境を整えていき、24時間の暮らしを充実できる場」を目標にして取り組んでいます。ご利用者一人ひとりが、安心してショートステイをご利用できるように努めてまいります。



ACP(Advance Care Planning)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのことです。令和3年度は学びを得て、3名のACPファシリテーターを養成しました。

令和4年度は得た知識を糧に、施設での生活を充実させ、施設理念にもある『そのひとらしく、ここで・・・』がさらに具現化します。何より大事なのはご本人・ご家族の“想い・願い”です。生き様・こだわり・習慣など長年生きてきた中で築いたその人らしさを尊重し、残された余生をどう充実させたいかを、入居の段階から、日頃のサービス担当者会議等様々な場面でお話し、サポートしていきます。施設生活だからとあきらめていたことも、“永寿園だからできる!!”となるよう職員一丸となって新年度も頑張ります。



# 養護



## 令和3年度 創立記念祭



### 3階

令和4年3月で創立から8年が経ちました。それを記念して3階では3月9日(水)に創立記念祭を行いました。午前中にはお楽しみ会(抽せん会)、午後はパン取り競争と、1日ばかりでイベントを行いました。

抽せん会では、全員に景品があたり、大変喜ばれていました。抽せん会の後も「これが当たった」と職員に見せてくださっていました。昼からのパン取り競争では廊下を車椅子でパンがぶら下がっている所まで進み、パンを手で取って食堂まで進む競技をしました。まっすぐに進むのが難しかったようですが、一生懸命におやつパンを取っておられ、終えた時には「楽しかった」と喜んで頂けました。次年度はもっと楽しんで頂けるように考えたいと思います。



### 4階

4階では3月16日(水)に創立記念祭を行いました。おやつ作りは事前に入居者にご意見をお聞きした所「季節の果物が食べたいね。あとはあんこのおやつも嬉しい」の意見が多くみられました。決定したのが、ホットケーキを薄く焼いて果物やあんこで形を整えた「姫巻き」。果物のカットや飾りつけも職員と一緒にを行いました。皆様、久しぶりの調理を喜ばれていました。お楽しみ会はくじ引きをされ景品をゲットされていました。魚釣りゲームも好評でした。これからも入居者の希望に添い喜んで頂けるよう支援していきたいと思います。

## 自立支援の取り組みについて



養護ではさまざまな自立支援の取り組みを行っています。

パン販売・小学生の帰宅時の見守り隊・畑仕事・掃除などをできる方に行って頂いています。パン販売は月2回、各階で担当し入居者数名で開店の準備、呼び込み、販売をしています。最後の会計では職員の支援を受けながら計算、お釣りを渡しています。閉店の後は次回のパンの仕入れの種類や個数を話し合っ決めていきます。

畑では季節の野菜を栽培しています。ロビーの掃除、見守り隊の後に畑に向かい、水やりをしました。ボランティアの方にも手伝って頂き今年度はオクラ・ブロッコリー・大根・ジャガイモなどの野菜が収穫出来ました。

施設内でも自ら掃除をしたり食事時やおやつの際に準備を手伝っておられます。今後も、入居者が自ら役割を担える活動を支援し、充実した生活が過ごせるよう取り組んでいきます。



## 令和4年度の取り組み

養護は令和4年度も自立支援に向け様々な活動に取り組んでいきます。

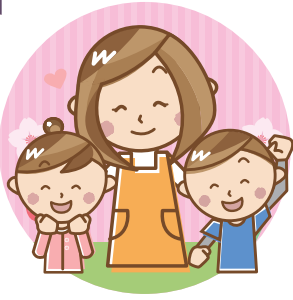
コロナ禍の中で地域との交流や行事、クラブ等の活動に制限がありますが、引き続きパン販売、地域の小学生の下校時の見守り活動、畑での作業などを通じて地域の方との交流を行っていきます。また、行事やクラブ活動を通じて、入居者に充実した時間を過ごして頂けるよう取り組んでまいります。園芸クラブで屋上の畑に花を植え入居者に花の育成、手入れをしていただく予定です。

養護の入居者も年々重度化が進んでおり、対応していくために介護技術向上に努めてきましたが、今年度も入居者に少しでも長く安心して快適に過ごして頂けるよう更に努めて参ります。

様々な活動を通して入居者、職員共に充実した時間を過ごせる一年にしたいと思います。



# 保育



## えいじゅ・とよなが保育園の保育理念

保育理念

園児一人ひとりの個性を尊重し、あたたかいかかわりの中で、自主性、豊かな人間性、感性を育みます。また家庭との連携を大切にし、子どもが心身ともに健やかに明るく素直に育つ環境作りに努めます。

保育の特色

### 1. 地域と自然とのふれあい

- 高齢者と一緒に農園体験

### 2. 健康な体づくり

- 緑いっぱいの敷地内広場でお外あそび

### 3. 創造力をつける

- リズムあそび、制作活動、絵本よみきかせ



## 令和3年 卒園おわかれ会

園庭に咲く桜が満開の中、令和3年度卒園おわかれ会を行いました。凛とした姿で入場した卒園する5名のお友達。卒園証書授与では、元気よく「はい!」と返事し、園長先生より卒園証書と記念品を貰いました。

また、みんなで“ありがとうさようなら”を歌い、お父さんお母さんに感謝の言葉を大きな声で伝えました。

これからも元気いっぱいがんばってね。応援しています!

ご卒園おめでとうございます。



## 令和4年 ご進級ご入園

### おめでとうございます

新しいお友達7名を迎え、新年度が始まりました。

入園当初泣いていた子どもたちも少しずつ園生活に慣れ、笑顔が増えてきました。お兄さんお姉さんになった子どもたちは元気いっぱい園庭を走っています。

今年度も楽しい思い出をたくさん作りたいと思っています。よろしく願い致します。



0歳



1歳



2歳

## 消防署見学

初めての消防署見学に行きました。

子どもたちは元気よく消防士さんに「こんにちは」とご挨拶をして、大きな消防車、救急車を見せられました。

消防士さんのお話を聞いて、消防車を前に目をキラキラさせて大喜びしている子どもたち。素敵な体験ができました。





# 特 養

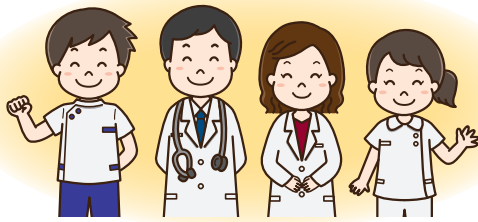
# 医務室

# 養 護

医師1名・看護職員4名で毎日8:00~18:45まで入居者の健康管理・体調不良時の対応・傷の手当などを行っております。

生活の場なので日々それほど大きな変化はありませんが、徐々に心身共に変化はみられますのでそれぞれに合わせて対応しております。

これからもできるだけ皆様の現在の状態が維持できるように介護職員・機能訓練指導員と協力し合って務めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



永寿園とよなか養護老人ホーム医務室では、自立の入居者の健康管理や服薬管理などの対応をさせて頂いておりましたが、

10年目を迎え入居者の皆様も年を重ねられ、色々な健康上の問題と共に生活されておられます。介護職員や相談員と協力し、入居者が安心してここでの暮らしが営めるよう「話し合い」「ともに学習」しながら、自立した生活が末永く過ごしていただけるように支援していきたいと思っております。

今年度もよろしくお願いいたします。

# 特 養

# 栄養士

# 養 護

平成30年4月より自営で食事を提供していましたが、令和4年4月より(株)マルワ給食へ外部委託することになりました。

料理は今まで通り、箕面市の白島荘にあるセントラルキッチンで調理したものを運んで来ます。厨房の調理員が今までは永寿園とよなかの職員でしたが、(株)マルワ給食の職員に変わります。とは言っても多くの方は継続してマルワでの勤務をして頂いています。

また、4月からは食事形態の変更を現場で行うことによって、よりスムーズに出来るようになります。今、食べている形態で食べにくそうにしておられたら、気兼ねなく相談してください。

今後とも安心、安全で利用者の方に喜んでもらえる食事の提供を目指して、(株)マルワ給食と連携していきますので、よろしくお願いいたします。



養護老人ホームでは、定期的にはちょっといいおやつの日と題して、普段のおやつよりも少し豪華なおやつを召し上げて頂いています。「御座候懐かしいな」、「不二家のケーキを食べたら若い頃を思い出すな」、など入居者の方々の思い出話に花が咲き、自然と笑顔が溢れる素敵な時間を職員も一緒に過ごしています。

他にも、おやつ時間に抹茶をたてて、いつもと違う雰囲気味わって頂くイベントも行っています。

これからも入居者の皆様に喜んで頂けるような食事やおやつに取り組んで参ります。

### 苦情解決等に関する 取り組みについて



令和3年度下半期、苦情報告はありませんでした。

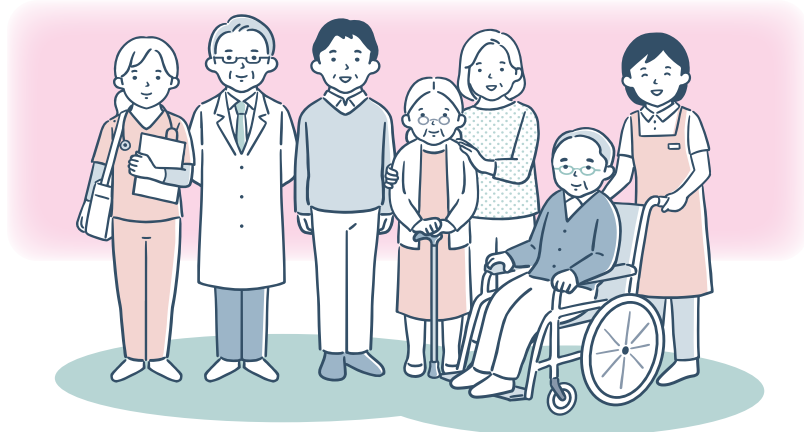
年間を通しては、短期入所で衣類紛失や荷物の取り間違えなど合計3件の苦情申し立てがありました。再発防止を行い、快適に過ごして頂けるよう取り組みを続けていきます。また、年1回の満足度調査では、たくさんのお褒めの言葉を頂くと共に、ご要望や改善点については真摯に向き合い、よりよいサービス提供を行うことができるように努めます。

## 地域貢献事業

昨年度はコロナ感染症対策の為、人数制限を設けての開催を試みましたが、オミクロン株の拡大により、講座の中止が相次ぎました。

昨年11月に腰痛予防体操講座に8名、1月手洗い講座に6名の方に参加頂き、また、認知症サポーター養成講座についても、11月に7名、3月は10名の方を迎えて開催しました。

また企業からのご依頼で初めてZOOMでのWeb講座の開催を行い、合計40名の方にご参加頂きました。今年度も引き続き隔月の公開講座と認知症サポーター養成講座の開催を予定しております。是非ご参加ください。



### 施設長 退任の ご挨拶

前施設長 大西 智之

この度、4月1日付で東大阪養護老人ホームへ転勤となりました。

永寿園とよなかでは3年間という短い期間でありましたが、ご利用者やご家族をはじめ、地域の方々や関係機関の方々に多くの温かいご支援とご協力をいただき、心から御礼と感謝を申し上げます。

なお後任には石崎 剛が就任いたしました。引き続き倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 編集後記

昨年度は法人設立50周年。節目の年度に永寿園とよながが法人のワンダフル特別賞を受賞しました！

“ありがとう”や感謝の気持ち、直接言うのはちょっと照れ臭い…なんて時に職員間で送り合うワンダフルカード。今年度は接遇委員会を中心に施設全体で取り組みを進め、なんと…2,785枚!!

たくさん“ありがとう”が贈られています😊

今年度もその勢いで、笑顔と感謝を多くの方にお届けしていきます！

施設のSNSもぜひ覗いてみてください♪

広報委員会より

ホームページ：<http://www.osj.or.jp/eijyuen/>

ブログURL：<http://yutaka12izumi12.livedoor.blog/>

Instagram：<https://www.instagram.com/eijyuen.toyonaka/>

Twitter：<https://twitter.com/Xq33xK>



ホームページ



ブログ



Instagram



Twitter

